

3つの柱 ONOプロジェクト

(みんなが幸せな住みやすい小野づくり)



平成29年3月

小野地区振興対策委員会

目次

1 小野校区の概要

(1) 小野校区の概況

(2) 小野校区の人口推移と課題

2 地域づくり計画

(1) 5つの基本方針

(2) 具体的な活動

3 推進体制

【参考】

小野校区 地域資源MAP

1 小野校区の概要

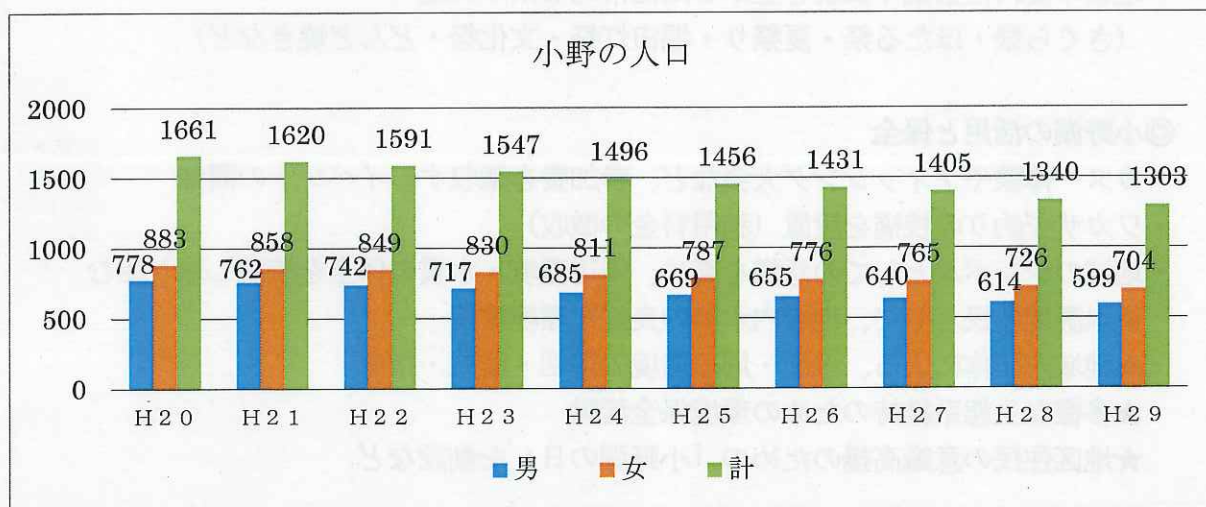
(1)小野校区の概況

小野校区は市街地から北東に27km離れた中山間地域に位置し、人口は624世帯、1,303人、65歳以上の人口が661人、高齢化率は50.7%（平成29年1月1日現在）で、宇部市の中で二俣瀬校区（51.2%）に次いで2番目に高い高齢化率となっています。

基幹産業である農業の中でも特徴的なのはお茶で、小野茶園は、「西日本一の規模を誇る大茶園」と言われています。また、平成17年にダム湖100選に選ばれた宇部市の水源「小野湖」では、環境教育と交流の拠点施設「アクトビレッジおの」を活用して、毎年夏期に交流ポート大会が開催され、市内外から多数の参加があります。小野湖周辺は、豊かな自然に囲まれており、日本でも有数のオシドリの飛来地となっています。



(2)小野校区の人口推移と課題



人口の推移を見ると、過去10年間で350人以上減少しており、今後も過疎化の進行により、担い手不足による耕作放棄地の増加や空き家の増加、また、高齢化により伝統行事や共同作業が困難になるなど、地域の機能が低下していくことが予測されます。

昨年7月に実施された住民アンケートでは、Q5. 何が不安ですか?の問いで、医療福祉に不安を抱いている方が圧倒的に多く、近くに医療施設がないことや医療施設までの移動手段などの課題解決も急務となっており、校区住民が暮らしやすい地域にすることが必要です。

そのため、小野校区では、住民をはじめ、様々な団体が協働・連携をしながら、地域福祉の輪をつくり、豊富な地域資源を活用して特産品の開発や観光促進、また、地域PRにより地域外からの移住定住を促進することを目指します。

2 地域づくり計画

(1) 5つの基本方針

- 地域資源の発掘と活用 ～交流人口を増やし地域の魅力を伝える～
- 地域の安心安全 ～地域福祉の活動や防災教育の推進～
- 子育て支援 ～子ども教育環境の充実～
- 移住定住で小野元気 ～空き家を活用した移住定住促進活動～
- 地域産業の振興 ～地域の拠点をベースに地域経済の活性化～

(2) 具体的な活動

■ 地域資源の発掘と活用 ～交流人口を増やし地域の魅力を伝える～

◎ 地域資源を活用したグリーンツーリズムやイベントの実施

- ・ 小野の名所、史跡、資源を整理しツーリズムの開催
(小野湖・平原岳・茶畑 など)
- ・ 地域の優れた景観や伝統を生かした恒常的な祭の実施
(さくら祭・ほたる祭・夏祭り・棚田灯祭・文化祭・どんど焼きなど)

◎ 小野湖の活用と保全

- ・ カヌー体験やフィッシング大会など、参加費を徴収するイベントの開催
- ・ ワカサギ釣りの棧橋を設置 (利用料金の徴収)
- ・ 地域のシンボルとしての意識を高め、周辺環境・水質の保全を持続し取り組む
 - ★ 水源地住民として、地域内水路の良好な環境維持
 - ★ 地域内団体による、水面・周辺環境の巡回・監視・指導
 - ★ 多様な生態系維持のための環境保全活動
 - ★ 地区住民の意識高揚のための「小野湖の日」を創設など

◎ 休耕田の活用 (休耕田を資源と捉える)

- ・ 農業機械の貸し出し制度の創設
- ・ プロが指導する本格的農業体験
- ・ ひまわり、コスモス、菜の花、オリーブで、「花のまち 小野」を実現

◎ 情報の収集と発信と共有 (小野インフォメーションセンター)

- ・ 地域情報を集約し内外へ積極的な情報発信
- ・ 住民や移住者へ地域情報の提供や生活に関する事など相談窓口の設置

◎ 旧小野中学校施設の利活用

- ・ 地域の新しい拠点として多角的に利活用

■地域の安心安全 ～地域福祉の活動や防災教育の推進～

◎校区お助け隊の設立

- ・「困りごと」解消に向け有償ボランティアの実施
- ・見守り活動として民間業者と協力関係を構築

◎防災教育の拠点づくり

- ・段ボールベッドの利用体験、炊き出し訓練など、災害時の避難所体験実施
- ・消防団、自主防災会を中心とした、緊急時の連絡訓練など

◎健康づくり

- ・北部地域の医療、介護関係機関の参画による健康づくり推進体制を確立

■子育て支援 ～子ども教育環境の充実～

◎地域住民参加の教育の推進

- ・紙すき、カヌーなど地域特性を生かした体験学習を推進

◎地域の団体による子育て支援の充実

- ・子ども安全協議会の活動を校区全体でサポート

■移住定住で小野元気 ～空き家を活用した移住定住促進活動～

◎空き家の情報収集、整備（組織化して取り組む）

- ・空き家情報を自治会長が取りまとめ ⇒ ふれあいセンター管理
- ・地域人材を活用した空き家の整備

◎移住者メリットの創造

- ・継続居住により持ち家が獲得できる仕組みの創設
- ・居住開始から一定期間、地域特産食材を支給する制度の創設
- ・移住者へ地域情報発信

◎学生のシェアハウス設置や農業留学生の受入れ

- ・学生や農業研修生専用としての空き家の活用

■地域産業の振興 ～地域の拠点をベースに地域経済の活性化～

◎地域内経済活動の推進

- ・新鮮野菜の販売や地元産品を使った加工品の生産・販売
(お米、野菜、お茶、椎茸、山菜、ワカサギ、竹の子、小野牛、ジビエなど)
- ・地元産品のブランド化、地域人材を活かした手工芸品などの販売
- ・農作物を「学ぶ」「収穫する」「食べる」など、体験を通じた「小野ファン」づくり
- ・クラウドファンディングなどによる出資を元に、コミュニティビジネスを創出
- ・道の駅的な特産品の販売、体験できる拠点施設の確保

3 推進体制

「3つの柱 ONOプロジェクト」の実行については、小野地区振興対策委員会、小野地区コミュニティ推進協議会、また、必要に応じこれら以外の団体も参加できるものとする。

■ 担 当

専門部会	5つの基本計画
ま ち	地域資源の発掘と活用 ～交流人口を増やし地域の魅力を伝える～
	地域の安心安全 ～地域福祉の活動や防災教育の推進～
ひ と	子育て支援 ～子ども教育環境の充実～
	移住定住で小野元気 ～空き家を活用した移住定住促進活動～
しごと	地域産業の振興 ～地域の拠点をベースに地域経済の活性化～

小野校区 ~地域資源マップ~



小野ふれあい/
市民センター



小野小学校 (下小野)



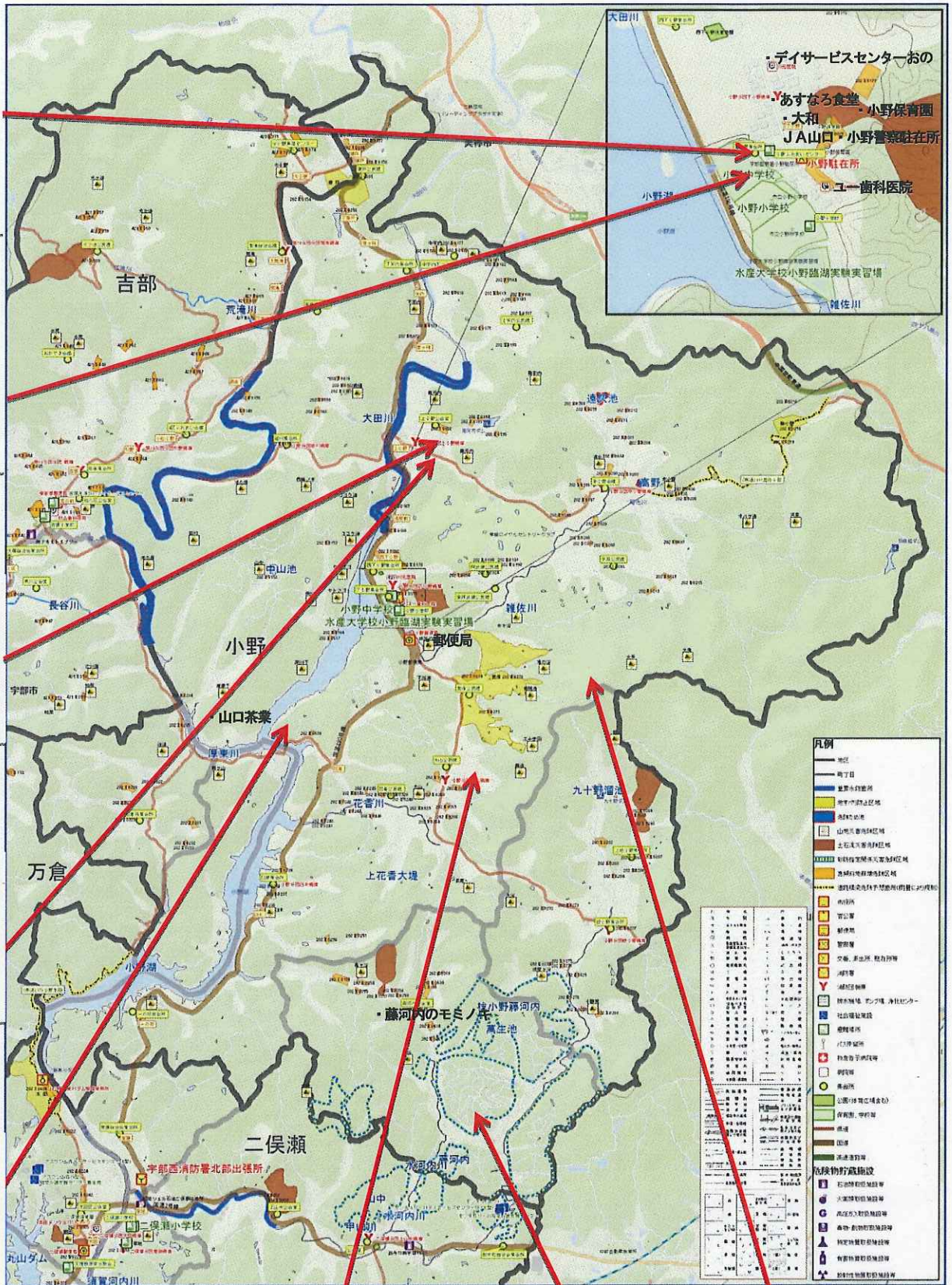
横瀬八幡宮 (上小野)



ほたる発生地 (上小野)



アクトビレッジおの



小野湖



大山棚田 (大山)



藤河内茶園 (藤河内)



平原岳 (平原)

